

1. 件名：「川内原子力発電所 1, 2号炉の地震等に係る新基準適合性審査
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事
業者ヒアリング（17）」

2. 日時：令和5年6月21日（水） 10時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全
審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、田島主任技術研
究調査官※

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他6名

（このうち2名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

＜＜本年6月15日に受取済み＞＞

- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価における地下構造モデルの設定について（コメント回答）

時間	自動文字起こし結果
00:00:04	A 規制庁地震津波の鈴木です。それでは時間になりましたので、仙台 12 号、標準応答スペクトルの地震動評価。これ地下構造モデル。
00:00:14	このコメント回答のヒアリング
00:00:17	でもいいですかね、資料は 6 月 15 日付でいただいていますのでこちらをまず説明をお願いします。
00:00:26	はい。九州電力の本村です。よろしくお願いいたします。資料番号 TTSA029 を用いて川内の地下構造モデルの設定についてご説明させていただきます。
00:00:38	まず、コメントリストですけども、3 ページから 5 ページにお示ししております。5 ページの No.19、ナンバー 20 の対応状況のところの、
00:00:48	ページ数を該当ページに修正してございます。
00:00:52	続いて、6 ページ 7 ページに今後のスケジュールを示しております。7 ページ、地下構造モデルについては、6 月 15 日の資料提出、6 月末の審査会合、その後、地下構造モデル確定後速やかに模擬地震後、基準地震動の
00:01:11	策定に関する資料を 7 月上旬に提出。
00:01:15	7 月下旬に審査会合という流れを考えてございます。
00:01:20	Ss 確定後の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価、補正については前回のヒアリングから変更ございません。
00:01:29	8 ページからが、コメント回答方針になります。9 ページをお願いします。こちらについては、前回のヒアリング資料では、指摘事項と議論の内容が混在しておりましたので、指摘事項のみに修正をしてございます。
00:01:46	10 ページ。
00:01:47	です。コメント回答方針になりますが、こちらについては前回のヒアリング資料では、速度構造見直しモデルによる観測記録との整合性の検討がかなり前面に出ていたところもございましたので修正を加えております。
00:02:04	一つ目のポツの評価モデルによる観測記録との整合性に関する記載は修正してありませんが、
00:02:12	一つ目のバーについて、観測記録と同等もしくは上回ることから現申請モデルに比べて整合性が改善されるということで修正してございます。
00:02:24	二つ目のバーの下になります。
00:02:28	速度構造見直しモデルによる検討結果を記載しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:34	現申請モデルに対するコメントを踏まえまして観測記録との整合性を改善するため、速度構造の見直しの検討を実施した結果、観測記録との整合性が改善する傾向が見られた。
00:02:48	一方で、地下深部の速度構造については、地震観測記録やPS検層による直接的なデータがないため妥当性の説明に時間を要すると。
00:03:00	判断するとして、速度構造見直しに関する設定概要や、
00:03:06	観測記録との整合性に関する具体的な内容については、参考①の方に移動させていただきます。
00:03:16	これらを踏まえまして経過措置期限を考慮し、迅速に、標準応答スペクトルを考慮した評価に評価を行い、安全裕度の向上を図るべきとの観点に立ち、強化モデルを用いる方針としてございます。
00:03:30	11 ページですが、
00:03:33	評価モデルによる観測記録との整合性確認のページになりますが、二つ目のポツ、
00:03:40	観測記録と同等もしくは埋まることから、現申請モデルに比べて観測記録との整合性が改善されるという記載を、10 ページと合わせて修正してございます。
00:03:51	12 ページからが、地下構造モデルの設定概要になります。
00:03:57	13 ページをお願いします。13 ページの一つ目のポツの一つ目のバーもところ、基本モデルが長周期だけではなく、短周期まで使えることを記載してございます。
00:04:10	清川の地下構造モデルは、敷地ごとに震源を特定して策定する地震動の、断層モデルを用いた手法による地震動評価において、
00:04:19	理論的手法による、長周期体の地震動評価に用いておりましたが、
00:04:24	その設定根拠としては、鉛直アレイ観測、微動アレイ観測等は、長周期体に限定したのではなく、
00:04:32	短周期から長周期までのすべての周期体の地震動評価に用いることができると判断しております。
00:04:40	14 ページをお願いします。
00:04:43	一つ目のポツ、若干記載を修正しております。許可以降継続的に取得している鉛直アレイの地震観測記録応答スペクトルや、ボーリング孔内減衰測定結果等、伝達関数の
00:04:58	EL-200 メーター以浅の観測事実等に照らしても、短周期から長周期までのすべての周期体への適用性を有することを確認すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:09	いう記載に修正してございます。
00:05:12	15 ページからが、地下構造モデルの設定になります。
00:05:18	16 ページは、新たに追加しておりますが、標準応答スペクトルが、0.02 秒から 5 秒までの応答スペクトル定義されているため、すべての周期体に適用できる、地下構造モデルが必要なこと。
00:05:32	地震基盤相当面で定義されるため地震基盤相当面から解放基盤表面までの地下構造モデルが必要であることを記載してございます。
00:05:42	17 ページお願いします。ここで地下構造モデルの設定について記載してございます。
00:05:50	一つ目のポツでは、評価モデルを用いること、一つ目のバーで先ほど 13 ページでご説明しました、基本モデルは長周期限定ではなく、すべての周期体に用いることを、
00:06:03	ができる。
00:06:04	いうことを記載しております。
00:06:07	また、三つ目のポツでは、14 ページでご説明しました、許可以降に取得した EL-200 メーター以浅の観測事実等に照らしても評価モデルは、短周期から長周期までのすべての周期体、
00:06:23	の、
00:06:23	適用性を有する旨を記載してございます。
00:06:28	次の 18 ページに、評価モデルの設定根拠を表形式で追加してございます。
00:06:37	続いて 21 ページになります。評価モデルの適用性確認について修正をしております。先ほどご説明しました通り、EL-200 メーター以前の許可以降の観測事実等に照らしても、
00:06:53	短周期から長周期までのすべての周期体への適用性を有することを、以下の方法により確認してございます。
00:07:01	(1) で、地震観測記録の応答スペクトルのように確認ということで、22 ページから 33 ページに、応答スペクトルによる結果を示してございます。
00:07:12	評価モデルの応答はの応答スペクトルが地震観測記録の応答スペクトルと同等もしくは上回ること、短周期側では、大きな保守性を有することを確認しております。
00:07:25	(2) 、PS 検層モデルとの比較による確認ということで、34 ページから 36 ページに結果を示しておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:35	EL-118.5 メーターから EL-200 メーターの範囲について、市岡モデルによる伝達関数が PS 検層モデルによる伝達関数に対して同等もしくは上回ることを確認。
00:07:49	短周期側では大きな保守性を有することを確認してございます。
00:07:54	なお、(1) の応答スペクトルの確認をおきまして、水平方向の一部の観測記録、例えば 24 ページの
00:08:07	②の地震の NS 方向、そして 25 ページの③の地震の NS 方向等で周期 0.1 秒から 0.2 秒付近で、評価モデルによる応答は観測記録をわずかに下回っております。
00:08:22	一方、(2) の PS 検層モデルによる伝達関数との比較においては、
00:08:28	36 ページに示しております図の通り、
00:08:33	強化モデルは短周期側で大きな保守性を有しております。
00:08:37	この (1) EL-18.5 メーターから、EL-118.5 メーターと、(2) EL-118.5 メーターから EL-
00:08:49	200 メーターまでの範囲を足し合わせた。
00:08:52	EL-18.5 メーターから、EL-200 メーターの反映全体では、当該周期体においても十分な保守性を有すると考えられ、
00:09:03	強化モデルの適用性に影響はないと考えてございます。
00:09:07	この
00:09:08	EL-18.5 メーターから EL-200 メーターまでの範囲全体の補正については、43 ページからの補足②というところで、
00:09:20	確認をしております。
00:09:22	44 ページをお願いいたします。
00:09:26	緑の矢印、真ん中ぐらいにありますけどそれ以降のところになりますけども、追加調査により獲られた Vs、VpQ 値をもとに、EL-18.5 メーターから EL-200 メーターまでの
00:09:40	PS 検層モデルを設定しております。
00:09:43	この際ですね、45 ページから 47 ページに示しておりますが、原子炉建屋直下及び地震計設置位置では、解放基盤表面以深から 200 メーターまでの
00:09:57	範囲については、⑤速度層が分布しておりますが、追加調査位置、Qs 案から旧 S3 では、⑤速度層と、③、④速度層との境界が
00:10:12	EL-60 メーター付近に存在すると考えられることを考慮しまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:18	最深部地震計 EL-118.5 メーター以浅の物性値は、EL-118.5 メーターから 2 百名、EL-200 メーターまでの範囲の PS 検層結果の物性値を、
00:10:33	用いることとしてございます。
00:10:36	48 ページになりますが、こちらに確認に用いた地下構造モデルを示して
	ございます。
00:10:44	49 ページに、伝達関数の確認結果を示しております。
00:10:50	強化モデルと PS 検層モデルによる理論伝達関数の比較により、EL-18.5 メーターから EL-200 メーターまでの図範囲全体の保守性を確認し、
00:11:03	強化モデルの短周期から長周期までのすべての周期体への適用性に影響がないことを確認してございます。
00:11:11	続いてちょっと 37 ページに戻っていただきまして、
00:11:17	こちらにまとめのページを追加してございます。一つ目のポツ、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルは、評価モデルを用いて、
00:11:30	二つ目のポツ、評価モデルの AVS3010、
00:11:35	メーターパーセクの相乗面、EL-、1018.5 メーターに、地震基盤相当面を設定する。
00:11:45	それと、三つ目のポツ、先ほどご説明しました通り、既許可以降に取得した観測事実等を見照らしても、正しくから長周期までの、
00:11:54	すべての周期体への適用性を有することを確認してございます。
00:12:00	38 ページをお願いします。
00:12:03	こちらに今後の取り組みのページを追加してございます。以上の通り、経過措置期限を考慮し、迅速に標準応答スペクトルを考慮した評価を行い、
00:12:14	安全裕度の向上を図るべきとの観点に立ち、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価では、教科モデルを用いることとしております。
00:12:24	今後も、さらなる安全性信頼性の向上を図ることを目的に、
00:12:29	最新の技術的知見の収集分析評価を実施することとしてございます。
00:12:35	メニューとしましては、以下に示しております。
00:12:38	継続した取り組みを含まれておりますが、広域地震観測や敷地内地下構造の把握を進めて参ります。
00:12:47	敷地内の地下構造の把握の具体的なメニューとしましては、鉛直アレイ地震観測が、今回減衰測定に用いたボーリング孔における、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:58	EL-200 メーターの地震計の増設、
00:13:01	それと大深度ボーリング A 及び地下深部の地震観測の実施についても、 検討を実施することとしております。
00:13:10	仙台の地下構造モデルに関するご説明は以上でございます。
00:13:18	はい。説明あれば、
00:13:21	そしたら紙確認をしていきますけれども、
00:13:26	ですから、本当は、許可に戻しアートを使いますといった地下構造モデルの方の、
00:13:32	なしに極力早く入りたいんですがちょっとその前に、
00:13:36	ちょっと関係する部分でですねコメント回答、10 ページ。
00:13:44	そ前回のヒアリングで、
00:13:48	評価モデルにした場合の検討等を少し速度構造を見直し、見直し後の
00:13:54	検討の話は、聞いてはいるので、その場所が移っただけなんですけど、
00:13:58	今回も一応書いてます。
00:14:01	遠いながら見直しの検討の方、
00:14:05	本来採用したいんだけどかくかくしかじかの、
00:14:09	より最終的には町岡野モデルを使うという判断します。
00:14:14	その説明のために、今この一方でというのが、
00:14:19	書いてあんですねまた現申請モデルコメントの前にある本やら一方で地下深部の、
00:14:25	地下深部のっていうのなんか後ろ見ていくと、EL-200 から 480 ですかね。
00:14:31	速度構造については地震観測や PS 検層、直接的な
00:14:36	地盤物性のデータがない。
00:14:38	から、
00:14:39	妥当性の説明に時間を運営する。
00:14:42	いて、
00:14:44	何か見直そうとしていて本来それが一番いいんだけど、ただ時間がかかりますと、それはデータがないからです。
00:14:51	一方で、後ろに行くと、
00:14:53	教科のモデルを使えばいいんです。
00:14:56	何か今日狩野
00:14:58	うん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:59	切り換え見直しモデルはやっぱり基盤のものを使うっていう、いうこの過程を、
00:15:05	A は何か許可のモデルを使う。あれなんかさっき駄目って言ってます。
00:15:10	本来、
00:15:11	何か見直そうとしてたんだけど、
00:15:13	何かデータがないから違う。
00:15:14	データがあれば本来見直すべきだっていう、
00:15:17	出るように、
00:15:19	の主旨がねちょっとよくわからないんで教えてもらいたいんですけど。
00:15:24	なので、
00:15:25	これー、
00:15:26	4日。
00:15:28	ただ一方で許可の時にはが一湯
00:15:32	これ最終的にもともと PS 検層と宮越他を、
00:15:36	つなぐような何かモデルサイト、
00:15:40	食いながら、鉛直アレイの地震観測井戸アレイの関係であって同定すると、何かそれよりも速度エスフォーの速度層は、
00:15:49	小さくなりましたという、
00:15:51	途中であって、
00:15:52	さらに、
00:15:54	なんか一応その観測結果から、鉛直アレイとか微動アレイ観測結果から同定された速度構造は、
00:16:01	一応敷地としては、平均的な、どうぞ。
00:16:04	反映してると考えられるんで、
00:16:07	評価のモデルができましたっていう説明をしてるわけじゃない。
00:16:11	だからそっちを今何か正しいという。
00:16:14	てるんかがちょっとよくわからない。
00:16:18	ええ。
00:16:19	学んでます。
00:16:21	何か微動アレイを重視したのがあまり良くなかったと言いたいのか、それとも許可は、
00:16:26	あくまで長周期と合わせて受
00:16:28	そういう意味だと緑を重視するんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:31	こういう全周期体だと何か微動アレイは重視しない方がいいと言ってるのか。
00:16:35	いやいやいや。
00:16:37	引地としての平均は別に許可のもので、
00:16:40	よくなって、今回炉心直下の1本ですよね、建設、
00:16:45	あれだけを見ると、右端の方、モデルの方がいいんだけど、当然そこが、
00:16:50	市全体を、
00:16:51	関して、
00:16:53	ここで6号とした時にその1本だけで判断する。
00:16:57	ということを、見直しを今後考えていく。
00:17:03	時間がかかると言ってるのかな。には、今回、見直しモデルっていわゆるQ値としては割と現実的な
00:17:10	文献とかいろんな分析
00:17:12	から、地震観測から旧値として割と現実的なものに、
00:17:16	そうしたときにそれなりに、
00:17:18	当然速度層、
00:17:20	はい。
00:17:22	これ評価モデルだったら当然Q値3周期はかなり持つ
00:17:26	保守的な値になっていて、
00:17:28	どっちだったら別に速度構造もそこまで細かく、
00:17:32	ではなくて、これは中間。
00:17:34	全体を俯瞰した微動アレイのものらしいと思っています。
00:17:38	ちょっと、今いろんな、何を考えてるんだろうなと色々なパターンを考えるもの、バラバラと伸びたんですけど、ちょっとすいません、どういう考えでここではこうって、後ろでは許可者がいいんだという、
00:17:49	使える。
00:17:50	慣習も含め適用できる。
00:17:53	ちょっと違うことを言ってるよね。
00:17:57	なんか元に、10ページを読んだと、非常にちょっとあれなんで許可者で言ってるんだろう。
00:18:02	話が入ってこない。
00:18:05	そこだけまずクリアして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:11	九州電力の本村でございます。我々も結構、かなり悩んで悩ましいところではあるかなというふうにちょっと思ったところではあるんですけども、
00:18:21	もともと既許可のモデルというのは長周期体で使うというところもありまして、敷地全体の
00:18:29	特性を反映できている、微動アレイなり、鉛直アレイと、
00:18:34	いうところではあったと。
00:18:36	そこに、減衰の話、先ほどありましたけど、観測記録も取れてるので、Q値としては、
00:18:43	精度向上ができるかなというところで、現申請モデルというのができてたと。
00:18:49	いうところではありますけども、やっぱり今回標準応答スペクトルというところで、短周期も変わってくるというところで、浅いところですけども、
00:18:58	観測記録との整合性ですね、0.1 から 0.2 秒の間、カンシンキに当たるところ、
00:19:05	が再現できていないと、で再現するにあたっては、速度構造を早くするというような見直しをしなきゃいけないというような観点で見直すモデルというものを作ってたわけですけども。
00:19:19	そうやってきたときに、浅いところ、観測記録替えられているところは、
00:19:24	速度を速くすると、
00:19:27	いうことが必要になってくるわけですけどもそれとですね、あと、深いところ先ほど、時間を要するということですね、200 メーターから 480 メーターのところについては、
00:19:39	もともと微動アレイで決めてるところもあって、若干速度が遅いというところ。
00:19:45	今回、浅いところを早くするというので、その下の部分をどうするかというところが、非常に悩んでたところでありまして、
00:19:54	一つの考えとしては、浅いところに合わせて、AVS でいうと 2150 を引っ張ってくるというようなところもありましたけどもそうやってきたときに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:04	その 2150 の妥当性について、観測ありませんですし、PS 検層もやってるかというやってませんので、そこら辺のところで時間を要すると。
00:20:16	ような記載をちょっとしてたと。
00:20:20	いうところではありますけども、前半部分と後半部分でちょっと、
00:20:24	今言ってることが違うんじゃないかっていうところも、受け取られる可能性あるので、
00:20:32	ちょっと検討したいとは思ってるところでございますけどもちょっと、はい。
00:20:38	はい九州電力の明石でございます。なかなかちょっと答え減りにくいところだったかと思えますけども先ほどの鈴木さんのお尋ねにストレートにお答えするとすると、
00:20:52	既許可のやつと我々が見直しモデルと言ってたやつで現時点どっちが正しいのって問われたら我々は既許可モデルであると、いうふうに考えております。
00:21:02	で、
00:21:03	もちろん皆おしいの検討を進めてましたので、観測記録にただし照らすと、多分、
00:21:09	こうじゃないかという。予測までは今回できたのかなと思ってますけどもそれを証明するに足るデータがまだ足りないということなので結果的に我々が見直そうとしてた。
00:21:20	モデルは、現時点ではまだ正しいかどうかわからないというたてつけなんだというふうに思っております。
00:21:27	なので、前回の資料では、見直しモデルをやったけどもやったけどもがずらずらずらずら並んで、結局どうなのってのがよくわからない。
00:21:38	何が言いたいかわからない資料になってましたので今回もあくまで既許可モデルでいくんですそれが正しいんですと。
00:21:44	言うとなにしたつもりなんですがやっぱり、
00:21:48	例えば 10 ページ、見直しモデルをやったけどこうでしたという、ちょっと経緯を説明するところがちょっと入ってしまったので、わかりにくくなったのかなとは思います。
00:21:58	これ何で入ってるかという多分に審査上というよりは外向けのところ、特に地元をに対して何かの店が

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:09	あるのが正直なところではありますけども、先般2月の弊社社長を大戸、規制委員との意見交換の中でその場では社長の口から見直す方向ですと。
00:22:23	いう発言をしておりました。資料にもそう書いておりました。その後の検討を経て、こういう結果に至ってますので、やはりそこはちょっとわかるように、
00:22:32	しとかなきゃいけないかなと思ってるのちょっとこの書きぶりでございます。
00:22:37	ただ審査上はあくまで、
00:22:40	すみません、先ほど私が申し上げた通り現時点正しいのは何って言ったら、菊川モデルですので、これ経緯を示すような情報はちょっともう一切合財、
00:22:51	参考なり後半の方に送るのに、ちょっと
00:22:54	構成が、構成はとりなそうがいいのかなというふうには、思いました。はい。以上でございます。
00:23:02	うん。なるほど。わかりました。そうすると、52ページかな。
00:23:07	何D51名、次現申請モデルと書いてあるんでちょっとこれは、とりあえず、900でとして強化モデルだと思って見ていただくって。
00:23:17	評価モデル。
00:23:19	この鉛直アレイ微動アレイで、いや、速度構造を設定していると。
00:23:25	教官モデル
00:23:27	一応これが正しい。
00:23:29	見直しを検討した時とにかく、観測記録に合わせようと一応周期体を少し、0.34秒。
00:23:37	左。
00:23:38	はい。浦島。
00:23:39	それに合うようにとにかく組んでみると、
00:23:43	当間見直しモデルになるんだけど、一方で本来、
00:23:46	来きちんとその観測時期っていうか家族データの方から、
00:23:50	手でたかったいわゆる速度構造、
00:23:54	違う
00:23:55	あせ込みの検討が、
00:23:57	データが、当然、直接取ってるデータ。
00:24:01	これからふやすわけですから時間かかるし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:03	そこは検討ができません。
00:24:05	だから、
00:24:06	何ですかね妥当性、もう正しいと思ってるんでその妥当性を説明したいんでそれに時間がかかりますという、
00:24:13	観測記録に合わせる側からの検討は、こうなり、
00:24:18	それは片方向からって、速度構造としてどうかっていうのが、これが十河っていうかな。
00:24:24	それができないと、多分妥当性の説明にたどり着きません。
00:24:28	何となく、
00:24:31	ちょっとそこら辺が何かどっちの方法が妥当だと思っていて、こっちも妥当だと、両方妥当だと言いたいのか、こっち、見直しの方が妥当だと言えないのかっていうふうにちょっと入口で、
00:24:41	何かあれって思ったのも非常に行くともあるので、
00:24:45	この辺の表現は、
00:24:47	誤解なきようにしていただきたいかなと思います。すみません
00:24:51	とこういう話だ。
00:24:53	ちょっと入口が少し長く。
00:24:59	それですね、3ポツの地下構造。
00:25:04	これ既許可のもう、
00:25:07	モデルを使いますと、
00:25:09	ていて、
00:25:10	まずう主語は榎岡モデルはと、市岡の地下構造モデルは、から入るんですけど、
00:25:18	もうふうに使って理論的手法の長周期で使ってます。またにこれ使ってたという。
00:25:23	その家設定項目とした鉛直アレイ、
00:25:27	ハンソク
00:25:29	同アレイ観測等は、長周期体に限定したものでなくってるこの通ってどこまで入っても、
00:25:56	すみません、規制庁鈴木ですけど、ちょっと今4ヶ所通信をしてるので本、九州電力の本店も画面だけ、
00:26:05	オフというかビデオオフにしてもらってもよろしいですか。
00:26:08	一応、
00:26:09	うまくそれで改善するかどうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:31	この設定根拠とした鉛直アレイ観測及び移動アレイ観測等とはいつて通 ってどこまでのものを、
00:26:40	あの清川のモデルっていろいろなものを使っています。
00:26:46	はい。九州電力の本村でございます。
00:26:50	範囲についてはですね、範囲というか等の話ですけども、鉛直アレイと 微動アレイ等と書いてますけど等については、解放基盤の設定根拠にな ってる施工つなぎ試掘孔内弾性破試験でありましたり、あと、
00:27:05	今回地震基盤相当面から浅いところの設定が必要ですので Vs3010 の層 が含まれる宮越ほか、
00:27:13	をイメージして
00:27:16	等ということで、考えているところです。
00:27:23	はい。すいませんそうすると 80 ページで言うところの、
00:27:30	の、
00:27:31	-1018.5 のこの下に、この境界にある宮越ほかまでが入る。
00:27:43	はいはい。
00:27:48	で、
00:27:51	評価モデルを使いますといったときに何か後の説明にもそうなんですけ ど、
00:27:56	何か強化モデルは、全周期体で使えるんですよって説明するなら何か評 価モデル全体を説明すればよくて、
00:28:04	何かこう部分的に、評価モデルのうち、
00:28:07	何か地震基盤相当面より上だけは、
00:28:11	ですとかっていうことを言いたいのか。
00:28:13	西田さんまで含めてかもわかりませんというふうに言ってるのか。
00:28:17	いや別に今日モデル全体としていえるんですよと言ってしまってるの か。
00:28:22	何かさらにいくと、何か EL-200 メートル浅いところだけは、
00:28:26	説明しますと言っていたりして、
00:28:28	どこに対して言っているところを説明しようとしているのかね。
00:28:33	混乱をするんですけど、
00:28:35	何か主語を見ると強化モデルは、
00:28:39	すべての周期の地震動評価に用いることができると判断したって言っ てるんだったら全体を指している。
00:28:56	九州電力の本村です。確かにちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:01	範囲がちょっと明確ではないというところがありますので、ちょっと記載の方は、検討したいと思っています。
00:29:11	はい。
00:29:12	玄海の場合も当然、参照している地震調査委員会 2003 が 2007 か、違いますけど、
00:29:19	今回の方は割と浅いところまでというか、
00:29:23	地震調査委員会の点検、
00:29:26	どこだと言った宮越はい。
00:29:29	玄海の方も、もともと増、別に何か特にこの、
00:29:34	そして、やっぱり長周期を意識してその文献から引っ張ってきたわけでもないし、新しいデータ見ても、その分婉から引っ張って、
00:29:42	速度だったり、
00:29:44	Q 値だったりっていうのはそれは変わりませんよ。
00:29:46	話。
00:29:48	従って入口として、
00:29:50	それによって、
00:29:52	少しチェックをしてみるべきはこの範囲なんですっていうのを絞ってから話を持っていったんじゃない
00:30:00	で何かこう仙台の方見ているとその話もなく、
00:30:04	いきなりじゃ、
00:30:05	90 名で 90 名 118.5。
00:30:10	より浅いところ、
00:30:12	中津谷中 200 メートルまでのところは、
00:30:15	何かそこに急に話が絞られ、
00:30:18	突然絞られて行って、
00:30:19	何か適用性説明しますと言ったまま、何か急にその範囲だけの行政、
00:30:24	なって、ちょっとその話も少し間が飛んでんじゃないか。
00:30:29	ここはまあ限界と同じくなる。
00:30:32	もともとその文献から持ってきたようなものって、何か特に長周期意識して、
00:30:37	だけではなく、
00:30:39	そこにしか使えませんよなと思うのはそもそもない。
00:30:42	それは今も最新のものを見ても変わらない。だから、そこから持ってきたところは、細かいという。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:51	浅いところだけで、少し、
00:30:53	観測データとれてるんで、
00:30:55	どのぐらい発生が、
00:30:57	そう。
00:30:59	ちょっとそういう話の流れなのか。
00:31:01	よくわからなくて、
00:31:05	九州電力の本村でございます。確かにちょっと絞り込みというところがちょっと限界とは比べて、できてないところ、書けてないかなというところはありますが、
00:31:17	先ほど、宮越ほかありましたけどもこちらについても、レシーバ関数に基づいて、文献で検討されてますけどもそれが長周期限定というわけでもございませんので、
00:31:30	そういうところはあるかなと思ってます。
00:31:33	規模以降に獲られた観測事実としましては、118.5メートル野菜ところの観測記録、それと、追加のボーリングをやってますので200メートルより1000、
00:31:45	以浅のところですね、そのところは、許可以降に、
00:31:49	データが取れてますので、そのデータと照らしても、
00:31:55	適用性に問題ないというところを確認しているというような流れかと思えますので、ちょっとそこら辺わかるように記載したいと思います。
00:32:14	はい。
00:32:16	ちなみに、
00:32:17	なので地震基盤より評価モデルを使うのではなくて何か許可モデルより、
00:32:23	この地震基盤、浅いところだけを使って何かモデルを組みますという話には、
00:32:29	もともとこの入口だと見えないんですけど、
00:32:32	福井ところまで含めると、新調査委員会。
00:32:36	いわゆるモデルは、80、
00:32:40	6ページになるかな。
00:32:43	さっきのその宮越他の方は
00:32:45	住谷小消化を参考にしているんだけど、何かこれを上書きするようなものっていい
00:32:51	意見がないんですっていうと話を。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:53	新調査委員会の方は、
00:32:55	何だろう。二川日奈久断層体のうち想定した地震動評価を実施して いて、その時に、
00:33:02	より深いところですね。どっちな構造モデルが示されて、そっから持 ってきました
00:33:08	いて、何かこれに、
00:33:11	より大きく見直すような
00:33:15	あるかないかをもっと国は別に見てない。
00:33:20	これ引き続きこれはこれでよかろうっていう何か、
00:33:24	玄海で言うところの地震調査委員会 2007 ですね。あれは少し、防災 科系の坂尻津野、何か 4 点の平均でちょっととり方は違いますけど
00:33:35	九州電力の本村です。まず、宮越ほかの件ですけども、これ以降宮越さ んがいろいろ検討したっていう、知見はございませんでここについて は、
00:33:47	更新版というのが、内は存在しないというところでありまして、地震 調査委員会 2003 についてはもうかなり深いところ 3 キロより深いところ になりますけど同じような、
00:33:59	はい、変わらないかなというふうに、原価も同じですけども、
00:34:04	変わらないかなというところは、感触としてちょっと持ってるかなとい うところでございます。
00:34:10	ちょっと
00:34:12	今現時点でちょっと比較までは、深いところはちょっとできてないんで すけども、はい。
00:34:24	はい。なので、ちょっと後期評価モデル。
00:34:28	宇和とい
00:34:29	で、全体の話をしているんだったらちゃんとそこまで含めて、
00:34:34	細かい検討はいらんいらんですよっていう、入口できるんだったらそう してもらいたい。
00:34:41	中途半端に地震基盤より上だけ取り出していいですよ。
00:34:46	説明するっていうのは宮腰岡まで引っかかって、
00:34:49	は説明してもらいたい。
00:34:51	別に宮越さん以外の方がよりよい検討をして何か出してるんだったら、
00:34:55	こっちの方が新しい知見だと。
00:34:57	宮越さんは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:58	以降論文出してませんっていうの。
00:35:01	は別にその方に限る必要はない。
00:35:03	ちょっとそのもし説明されるんだったらそこもほうきをつけください。
00:35:08	その上でですね。
00:35:10	これはと言いつつ、地震観測記録鉛直アレイの観測記録がしっかりとれてるところは、
00:35:19	きっちり説明しましょうと、もともとの検討時にちょっと一部の周期で、
00:35:25	それをきっちりこの地下構造まで評価モデル使うと、田上で、改めてその部分について説明をしますという、
00:35:33	をとって、それが、
00:35:38	50、
00:35:39	あって、だから、
00:35:42	はい。
00:35:42	ということで、
00:35:44	その説明が入ってくる。
00:35:46	例えばそのさっきも言ったように、18 ページとかですね。
00:35:49	なんか教官モデルの設定根拠。
00:35:52	あれこれ許可モデルって、
00:35:54	この
00:35:55	EL-1010 は、
00:35:57	でしたっけという
00:35:59	ある、こういうようなところであれなんか。
00:36:02	減ることが変わってくるなんていうのが、
00:36:05	うん趣旨、
00:36:06	地震観測記録、あと PS 検層あります。
00:36:11	まずはその観測記録の方で、ここはこれまで説明してきたというか、
00:36:17	もともと前回まで説明した
00:36:20	まじで。
00:36:23	言ってみると一部半分とは言わないか半分弱ぐらいですかね。
00:36:28	一部、
00:36:29	例えば 2 番の、
00:36:30	24 ページの 2 番の鹿児島県北西部とか、
00:36:34	3 番もする。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:37	皆さんも4番ぐらいあって、大分改善して、ちょこっと、この間の玄海で言うところの周期0ジョーウェル
00:36:44	0.2から1.9あるぐらい。
00:36:46	ぐらいの微妙な
00:36:48	ごみ。
00:36:50	ということで、
00:36:52	五つ短周期全体としては、大きな保守性があるっていうのは、
00:36:56	もともとの許可に戻したらどうだっていう検討と結論投資的なんで、
00:37:01	次のこのPS検層モデルとも、
00:37:05	ところが、
00:37:06	34ページ。
00:37:09	これが、
00:37:10	何か急に、
00:37:12	あれなんていうか、川内の場合はなぜかEL-118.5から-200までの、
00:37:19	もので比較しますと、
00:37:21	これが、
00:37:22	委員会なんです。
00:37:23	それより浅いところは、
00:37:25	別の速度層を切ってしまうと、まず一旦ここで何か、
00:37:29	ということなんですけど。
00:37:31	PS検層モデルと言いつつ、
00:37:34	実際のそのものを見ると、35ページですかね。
00:37:38	これって、
00:37:41	工藤さんがそもそも、
00:37:43	どれも何とか1600、19308810とこの数字はもちろん違いますけど、
00:37:49	別に何か速度境界があるわけではなくて、
00:37:52	単純に何かQ値が、
00:37:54	C、
00:37:55	評価モデル。
00:37:56	100、
00:37:57	2、
00:37:58	9S3、11範囲。
00:38:01	旧エスワン11.4で最下位が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:05	USII-10.6 ですって、多分それがそのまま 362000 で順位で現れてるだけで、
00:38:12	何かあまりその伝達関数という
00:38:14	単に木内が、
00:38:16	100 に対して 10 です。
00:38:18	11、12 ぐらいです。なんかそれだけしか言ってない。
00:38:23	コダイそれってなんか。
00:38:25	モデル。
00:38:26	PS 検層モデルとの伝達間理論伝達関数の比較っていうほど、
00:38:32	何かお前の持って、限界でやったような、
00:38:36	何かこの、
00:38:38	-200 から-11 件。
00:38:40	ただ単に浅いところだけ、地震計のところだけ見ると多少内容でコミコミあるんだけど、
00:38:48	実際は
00:38:50	文献なり或いは PS 検層で、もう少し深いところの Q 値も、
00:38:55	そんな 100 なんていうことはないっていうのは、
00:38:58	いる。
00:38:59	でも一応、評価モデルを使ってここ 900 です。
00:39:03	なんて大分ここは保守性がありますよっていうことを言ってるだけのよう
00:39:09	何か伝達関数まで、
00:39:11	さらには、
00:39:12	その次ですかね。
00:39:14	ええ。
00:39:15	これをやった上で、
00:39:18	さらに、何かまた、
00:39:20	解放基盤から、
00:39:22	比較を 4、
00:39:24	補足 2 か。
00:39:27	修正とかってなんかも、前回説明して頭を何か補足に、
00:39:31	持ってきましたっていうだけなんですけど。
00:39:34	場所を細くに持っていたと言ってんですけど、これも 40。
00:39:39	8 ページですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:41	これ何回、
00:39:43	-18.5メートル以前を05側道層とみなし、
00:39:49	もうもともとPS検層で起こってる。
00:39:53	速度のデータとか、
00:39:55	もう当然無理してるわけで、
00:39:57	この前なんかPS検層モデルなのか。
00:40:00	するんです。これも結局見てみると、
00:40:02	速度境界が唯一あるのは、評価モデルの16001200、この浅いところだけ、
00:40:08	何かこれも単に、さっき言ったような、何かQ値の、
00:40:12	順番になんかならんましたつつた形で、このうち大したことってない。
00:40:17	あんまりこの、
00:40:19	何か中途半端にこう組み替えた。
00:40:21	PS検層モデル戻って、
00:40:24	伝達関数を出します
00:40:25	ここなんかあんまり、
00:40:27	最後示しても、
00:40:29	Q値が、
00:40:31	10、11、12ぐらいのものに対して100です。
00:40:34	それだけを言ってる。
00:40:37	この辺は、
00:40:42	ぐらいの意味のあるものと思ってやってるのかな。
00:40:45	そこは、
00:40:47	気になってますけど、これはやっぱりなんかは、
00:40:50	この伝達関数として見せる。
00:40:52	何かその特別な意味がある。
00:40:59	はい。九州電力の本村です。例えば36ページとか、鈴木さんがおっしゃるように、伝達特性っていうか伝達関数で見ると、Q値の大小関係で人が決まってるというところが結果的に、
00:41:11	そうなってるかなと思ってます。もともとの資料の方にも記載してますけどPS検層モデルというところ、
00:41:19	本委員会と同じように解放基盤まで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:23	200 メーターから解放基盤まで、比較できれば、一番いいとは思うんですけども、やはり PS 検層実施したところでありまして、L-60 メーターのところに、
00:41:35	コントラストがあって、表層近くは、
00:41:39	炉心に比べてやわらかい層があるというところもちょっとありまして、
00:41:47	解放基盤まででやってしまうと、
00:41:50	実際の地下構造モデル、評価モデルとの
00:41:54	同じ条件での比較にならないかなというところもちょっと悩ましいところがありまして、
00:41:59	今回ちょっと限界とは異なりますけども、118.5 より浅いところは観測で確認、観測記録で確認して、それより下の 118.5 から 200 は、上传達関数というところで、
00:42:13	比較をしてると。
00:42:15	いうところですね。
00:42:16	で、補足の②の話がございましたけども、確かに
00:42:22	調査に基づく PS 検層モデルの浅いところを、ちょっと仮定を含めてやってるところではありますけども、先ほど言いました 118.5 より浅いところで、観測記録をカバーできてないところが、
00:42:37	数自身あるというところで、限界と同じようにですね、ちょっと 200 メーターから解放基盤まで見た時、できるだけ、地震計があるところ、炉心直下と同じような条件にした場合、
00:42:50	どういう大小関係になるかというところで、検討をしていく。
00:42:55	たというところではございます。
00:42:58	ちょっと答えになってないかもしれないですけども。はい。以上です。
00:43:03	ください。
00:43:05	九州電力の明石でございます。我々ここで示してるところはある意味鈴木さんがさっきおっしゃった通りでございますその Q 値の違い。
00:43:16	でこれぐらい補正を持ってるっていうのはある意味見せてって絵で見せてるというところがございます、
00:43:26	我々これ何がや、何がやりたかったかという目的は、要は、118.5 メートルまでの浅いところではええ若干観測。
00:43:37	と応答はを比べると、若干負けてるところがあるんだけど、118.5 よりも深いところ、ここはもう雪強化モデルは減衰でガバッと落ちて思ってるから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:50	そこで十分カバーできるよねというふうに考えているもので、それを、
00:43:57	もしかしたらもう言葉だけでいやでもそれより深いところで減衰大きく補正を持ってるから、118.5 に上ぐらい観測で多少出込み引っ込みあっても大丈夫です。
00:44:08	で、それで終わりなのかもしれませんが、
00:44:11	その下減衰での補正がどの程度あるのっていうのを見てみると、
00:44:17	118.5 より下はこの 36 ページにある通り、伝達関数で書くと、結局 Q 値の差が表れてるだけですけどももうその通り木内でこれぐらいの差が出るような補正を持ってる。
00:44:30	いうものを示してるというものでさらに後の方の補正で示してるのは何かといいますとこれただ、
00:44:37	上の、ちょっと負けてるに対して下の足し算で、カバーできてるよねっていうのを示してるものですけども、それを解放基盤から 200 まで通しで見てみるとどうなのって見てみると、
00:44:50	補正にあります通り、結局表れてるのは Q 値、それによる補正の違いですけどやっぱりガバッと保守性はありますよねっていうのを改めてそこで確認をしていると。
00:45:01	いう趣旨でございます。
00:45:14	はい。
00:45:15	なんで、ちょっとこの PS 検層 3 本ですよ追加であった三瓶でこれで、
00:45:21	なんか方は、Q 値の実測値みたいな話は 4 ページ。
00:45:29	何かここまでは、
00:45:33	9、9 名の 11.4 のところ数字書いてますけど、この辺までは、なんていうか説明として、
00:45:39	使えるデータがとれてると。
00:45:42	か。
00:45:42	なんかコースモデルを組もうとする等、いわゆるその別の速度層を切ったりしてあまりいいところが触れてなかったんですね。けどなんか無理して使いますと、
00:45:54	とか、
00:45:55	ちょっとどこまでを信頼に足るものとし、
00:45:58	いるのか。
00:45:59	それはどうなのか、42 ページで言ってる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:03	結果これは全然足りですと。
00:46:07	ただこれももしかしたらね、66とか、
00:46:11	-54.5 みたいなところは、これはちょうどその、
00:46:16	⑤速度層じゃないところの休日、
00:46:18	これはあんまり信用できませんと。
00:46:29	なんで、ちょっとですね、
00:46:31	単純にガバッと木内実測値としては、掘れたと。
00:46:37	10、
00:46:38	9.3 から 10 なんかも幾つか書いて、
00:46:41	このぐらいなんですけど、それを実際 100 になってる。
00:46:44	モデル強化モデル 100 なんで、いいでしょうっていうことであれば何かこんなに、
00:46:49	なんていうか回りくどい説明。
00:46:51	いらないのかなと思う。
00:46:53	けど、
00:46:54	そのあたり、
00:46:55	わざわざ何か、
00:46:57	PS 検層モデルもどきを作って、
00:46:59	何か比較して、
00:47:01	あえてこの視覚的に何か見せたいっていうんだったら教えて
00:47:06	使って議論も必要なのかもしれ
00:47:13	九州電力の明石でございます。確かにまず鈴木さんのお話を聞きながらその回りくどいと言われれば、
00:47:19	確かに回りくどくなってるなというふうにちょっと私も感じたところですが、そもそも、我々がこの 118.5 より浅いところこれは応答スペクトルで比べてますので、
00:47:32	できれば応答という形で、この深いところに言うと応答という形で、もうほらちゃんとカバーできてますよねっていうのが、
00:47:43	見れないかという検討をしていたという流れがございます。ただ、それでやろうとするとやっぱりいろんな仮定条件が入ってきて、さらに
00:47:54	データのばらつきなんかも入ってきますので、必ずしもそのかフェアな比較になかなかならないということで、ただその Q 値としてこれだけガバッと保守性持ってますだけじゃなくて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:05	せめて伝達関数なりで、増幅度合いとしてやっぱりこれぐらい増幅度合いで見ても保守性がありますよと、いうのを
00:48:15	見せるべきではないかという言い方悪いですけども、
00:48:19	せめて応答スペクトルでは示せないまでも伝達関数でやっばお示しすべきではないかと、考えたという、
00:48:27	経緯があってちょっとこういう示し方になってます。ただ趣旨としては先ほど私申し上げた通り、深いところも含めてガバツとほぼ Q 値減衰補正持ってますので、
00:48:38	観測記録に対して浅いところで多少の血痕引っ込みあっても問題ありませんというのが、趣旨ですので、ちょっといろいろな回りくどくなってるところはちょっと今私も理解しましたのでちょっとそこはすっきり。
00:48:53	言いたいこと、それぞれにスキルさせた方がいいなというふうにちょっと思い直しました。
00:48:59	以上でございます。
00:50:00	すいません、ちょっと通信が悪いのかな。
00:50:11	いや、あの地震、あれ。
00:50:14	言いたいことを先に見るところかなと思っただけですけど。
00:50:19	私が言いたかったのは旧エスワン QsIIIのこの伝達関数を算定するとき、やっぱり 9G の
00:50:27	影響が非常に大きいってのはわかるんだけど、鳥栖市のこの値っていうのは、施設ばらつきの範囲を置いてしまっているんじゃないの。
00:50:38	そういうふうなものをあたかも RB 直下というふうな、
00:50:44	あんなん出るかな、砂堆ところであって、
00:50:48	そんなギャップはありませんよと言いつつも、RB 直下外してるから、こういうふうなばらつきが出てるんじゃないの。
00:50:56	だからそういうふうなところのデータは、9 人のセットで使うのはいいけどあんまりこう Vs 値っていうのを、
00:51:03	がクローズアップされないようにした方がいいんじゃないですかって私は思っただけですけど。
00:51:08	そもそも、これ立ち上げをしたからやめろって言ったのはそういう意味です。
00:51:13	施設側で考慮してるばらつきの範囲を超えてるから、そんな辺り使ったらそれは一体どういうことなんですかって話になっちゃうよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:23	許可をしてしてるんですか、設工認も。
00:51:28	そういうデータを使って、立ち上げとか来ていいんですかっていう、
00:51:33	ということでこういう安全からコメントしました。
00:51:37	今回はそれやってないから、あそこ、あくまでも伝達関数、
00:51:42	だけなので、あまり言ってないけれども、あんまり
00:51:47	他の当たり使わないほうがいいと思います。以上です。
00:51:59	九州電力の明石でございます。ご指摘ありがとうございます。
00:52:03	今回は上げて下げ、下げてあげてではなく伝達関数で見たものの確かに、
00:52:12	Vs 値として、ばらつきの範囲を超えてると言われればその通りでございますので、
00:52:20	またちょっと先ほど私が言ったことと繰り返しにはなりますが、結局、遊休地としては実態的な木内に対してモデルもかなり保守的な、
00:52:31	ガバッと保守的な値を持ってますので、多少の引き込み出っ込み引っ込みは大丈夫ですっていうのが言いたいことなので、
00:52:39	妙にちょっと議論を呼びそうな、数値特に Vs 値をこねくり回すのではなくてもうちょっとすっきりご説明できるようにちょっと、
00:52:49	整え直します。はい。以上でございます。
00:52:58	規制庁佐口ですけど、ちょっと私も個別の観点で確認をさせていただきたいんですけど、なぜだから 44 ページ 43 ページ以降でこういう検討をされたのかっていうので、
00:53:12	44 ページの、
00:53:15	矢印三角矢印の下も、すぐポツの、
00:53:19	2 行目の最後の方からの追加調査位置では 05 相当。
00:53:24	03304 層速度との境界が、
00:53:29	L-60 付近に存在すると考えられることを考慮して考慮して、
00:53:35	なぜ、
00:53:37	一定でいいのかという何か言ってることが何か逆のような気がしてですね。
00:53:43	で、
00:53:44	もともと御社は、最初の例えば 13 ページ、14 ページか。
00:53:50	14 ページで、
00:53:52	当然観測記録替えられているマイナス 118.5 というのは、これは観測記録そのものと比較してどうだ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:01	で、118。
00:54:03	、5メートルより下の部分は当然観測記録。
00:54:08	というものが獲られていないので、観測記録ではないんだけども実際のPS検層という、観測事実ですよ。
00:54:18	これ追加調査でこれで比較することで予定どうだと。
00:54:22	いうことが、ここのこの二つをもって、確認をして、
00:54:28	しますと。
00:54:29	言っておきながら、21ページではそのプラスアルファとして、一番最後に、
00:54:36	-18.5メートルからA-200メートルの範囲全体の保守性について確認ということで補足2でさっきの42ページ以降になるんですけど、
00:54:46	そうしたときに、
00:54:48	いや、当然その44ページで、
00:54:52	しかもこの
00:54:53	マイナス200メートル。
00:54:56	までの範囲っていうのは、
00:55:00	上からですね。
00:55:01	図全部
00:55:03	その部分の値、右下の四角にも同じような書いてますけど、
00:55:08	もうとにかく全部おんなじVsとかVpとかQ値を用いますよと。
00:55:13	されていて、その比較結果が結局49ページなんですけど、
00:55:19	先ほどいろいろ確認している。
00:55:22	時に、
00:55:24	いや、そもそもこのボーリングの地点で、その炉心直下とか、観測点の、
00:55:30	近くでもないみたいな、
00:55:32	お話だったんですけど、
00:55:35	あれちょっと待って本当にそうか、っていうのを見てみると、何ページにありましたっけ。
00:55:41	場所ですね最初の方にあったかな。
00:55:45	20ページですねはい。
00:55:47	これ見ると、
00:55:50	少なくとも旧S1っていうのは地震計のすぐ近くですし、
00:55:54	旧S123含めて、この炉心を取り囲むようにこれ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:58	されてるんですよね。33315-2も含めて、
00:56:02	だから、何か直下じゃないといけないとかそういうわけじゃなくて、当然ながら、旧 S1 とか旧 S2 とか 9S3 すべてですよね。
00:56:12	これ後の方志賀ごめんなさいなかったの、本当は、まずどういう結果ってというのが、
00:56:19	これは Vs とか Vp も含めてですね、Q 値だけは何かありましたけど、
00:56:26	42 ページですね、42 ページはこれはあくまでも Q 値だけって言って、
00:56:30	まずそうじゃなくって、観測事実としてどうだっというの当然この Vs とか Vp も本当は入ってこなきゃいけない、
00:56:39	それがようやくですね最後の最後の、
00:56:42	何ページでしたっけ。
00:56:45	90 ページ、90 ページにして、よく出てくんですよ。
00:56:48	で、先ほどの炉心直下じゃないとか、
00:56:53	観測点の近くじゃないとか言いつつ、私さっき言いましたけど、観測点の近くの旧 S1 は近くですし、
00:57:00	全部全部炉心を取り囲んだ後にやって、それだけなんか場所が多くて局所的って言われても、
00:57:06	ちょっとよくわからなくて、
00:57:08	当然 90 ページ見ると、
00:57:10	速度境界ってというのはこの 60 メーターとか -60 メーターとか 70 メーターぐらいですね。
00:57:14	どの港にもこれ出てるんですよ。
00:57:17	それを考えると、
00:57:18	やっぱり今の 44 ページのこのやり方っていうのは、
00:57:22	私はちょっとよくわからなくて、でやるのであれば、いや PS 検層の結果そのものを用いて、
00:57:30	忠実に、
00:57:32	それぞれ 9S1、2、3 というのをモデル化して、
00:57:36	比べて、
00:57:37	トータルとしても、規格モデルのが保守的なんです。で、ご説明されるのであればわかるんですけど、今のこの 48 ページのやり方だと、
00:57:46	どうなんですかねっていうのは私はちょっとやっぱりよくわからなくて、
00:57:52	さっき申し上げたみたいに、今の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:55	40、
00:57:57	3 ページでしたっけ、の書き方。
00:58:01	これも、何か言ってる分ことが何かよくわからないなっていうところなので、
00:58:07	結局、この 44 ページ以降のこの補足②って本当にいるんですかっていうのがまず 1 点と。
00:58:15	本当にこれ必要であれば、やっぱり PS 検層の値は、
00:58:20	そのまま使って、で比較してどうかっていう。
00:58:25	そういう話じゃないですかねと思ってるんですけど。
00:58:29	ちょっともう 1 回、
00:58:31	この辺りの、
00:58:32	特に 42 ページ 43 ページとか、
00:58:35	考え方をもう 1 回教えてもらっていいですか。
00:58:43	九州電力の本村です。まずちょっと補足②のはな C ですけども、もともとの目的としてはさっき、先ほどちょっとご説明しましたけど 118.5 メーターより浅いところ、
00:58:55	の観測記録に基づく応答スペクトルの比較というところで、
00:59:00	全体を見渡すと、観測をカバーできてる地方モデルっていうのは、
00:59:08	確認はできてるかと思えますけども、幾つかの地震で、やはりちょっとわずかに、観測記録をカバーできてない、0.1 秒から 0.2 秒でカバーできてないところがあるので、
00:59:18	そこのところの、
00:59:21	ことをですね、浅井深いところですね、EL-200 メーターからの PS 検層モデルで、
00:59:30	確認をしたというところ。
00:59:33	が、我々、補足②というのを持ち出してきてるっていうところであるというの、
00:59:41	ございます。
00:59:42	実際、先ほどおっしゃられました旧エスワンから 3 については 20 ページに示してます通り、炉心を囲むようなところではございますが、
00:59:54	ちょっと
00:59:56	やっぱり炉心直下と同じような、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:00	速度構造になってるかというところではないというところもありまして、-60メートルぐらいのところに、いずれもコントラストがあるというところで速度層断面とか見ますと、やはり
01:00:15	⑤速度層が直下にはありますけども、
01:00:19	周辺ちょっと離れると、③④速度層があると。
01:00:24	いうところでなかなか同じような条件で、炉心直下となかなか比較できないところもございまして、最初の(2)ですかね。
01:00:35	PS 検層モデルというのを、区間を 118.50 にして、検討してるっていうところが、
01:00:44	今我々考えてることです。
01:00:54	はい規制庁さん、佐口です。もう 1 回ちょっと確認しますけども、まず 14 ページでおっしゃってることで、
01:01:02	これは事足りるのかどうかっていうことなんですよ。
01:01:06	あえてこの補足の②って、
01:01:09	あれ補足の②っておっしゃいましたけど、この少なくとも 14 ページの下川手の補足 20 じゃないですよ。
01:01:17	だからだから補足の②っていうのがどういう位置付けで、
01:01:21	結局これ、これって、
01:01:23	必要だ、であれば先ほど私が言ったみたいに、
01:01:26	やっぱり PS 検層そのものをそのままの値を用いるべきですし、そうじゃないんだったら、何か今の少なくともこの 40、
01:01:36	2 ページ、43 ページ以降のっていうのは、
01:01:39	いや、そもそも必要なんですかって、ちょっとそこをまずお聞きしたいんですよ。
01:01:44	はい。九州電力の本村です。14 ページについては、
01:01:50	記載してる通りですけども結論と我々の判断結論としては、このいえるマイナス 118.5 の記録、浅いところの記録と、あと 200 メーターから 118.5 の伝達関数、PS 検層群に基づく伝達関数で、
01:02:07	長周期体、短周期から長周期までの適用性の確認ができたというふうに思ってます、ちょっとすいません補足②の、
01:02:15	位置付けについてですけども、ちょっと明確に記載できてはおりませんが、観測記録で、ちょっと若干、わずかに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:02:25	下回るところが見られるので、ちなみにといたしますか、参考値といたしますか、念のためといたしますか、ちょっとそこら辺ちょっと位置付けをちょっと、かなり
01:02:35	落ちるところで、結論としてはこの 14 ページで言いたいというところでございます。
01:02:40	ちょっとお待ちください。
01:02:43	九州電力の明石でございます。ちょっとこれは今、今私が思ってることなので後程ちょっと社内でまたちょっと議論が
01:02:54	議論しなきゃいけないなと思ってますが、今嵯峨さんの答えに対してこの補足のところ本当にいるのかと言われると私今もういらんんじゃないかと思ってます。
01:03:04	そもそもこの 14 ページで言いたかったことこれは何度も先ほど来申し上げてますけども、我々が示したかったのはこの上の観測記録で応答スペクトルで照らし合わせる A されるところ、
01:03:16	で見ると、もう規格モデルはもうほぼほぼ上回ってる十分カバーできて、大丈夫ですよ。ただ、多少のデコミ引っ込みがあるそこちょっと気になりますねって。だけど、
01:03:27	118 点目、5 メートル下も、減衰でガバッと保守性を持ってるだって実際に測ってみた Q 値に対して、今回
01:03:38	かなり今回保守的な Q 値をモデルとして取ってますから、だから大丈夫ですと、もしかするともうその文言で済む話でそこを、ちなみに伝達関数で見ると見ますっていうのを、
01:03:49	示してるのがこの 14 ページの下の図になります。ここは先ほど名倉さんからご指摘いただいた通りそもそも VSC そのもの、であったりについてかなりやっぱりばらつきということで、
01:04:01	議論を呼ぶところもありちょっとそこはやっぱり、慎重にかつすっきりと考えなきゃいけないなと思っているところで、さらに、②にその補足のところで、これをトータルで見えますと、ただ、
01:04:14	ポーリング掘る位置が必ずしもジャストミートじゃなかったのもちょっとこうこうこういう調整を加えますということを市の方の手法で言えば言うほど、何が言いたいかわからなくなってきましたので、
01:04:26	我々の趣旨としてはもう減衰で深いところ補正持ってるから大丈夫です。それに尽きるところですので、ここはもうちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:38	余計な情報を我々がつけたよ、余計な情報ではありますけども、そこ要はもう一度ちょっとあんたたち、九州電力は何が言いたいのかというところもっとはっきり、
01:04:47	述べてすっきりお示しできるように、ちょっと整え直しますは、ていうかちょっと即、そういう方向でちょっと社内で後程議論して整え直します。
01:04:57	以上です。
01:04:59	はい規制庁佐口です。まさに今おっしゃられたことが、私は、
01:05:05	一番ですね、
01:05:07	よくわからなくて結局何がこの高速の②で言いたいのかっていうので、いや、
01:05:17	うん。なので、少なくとも補足2でやるのであれば私は少なくともPS検層またそのままを用いてやるべきですし、14ページの結局この二つで、
01:05:29	もう説明し切れるのであればもう、別にそれはそれで終わり、
01:05:33	いいのに、なぜか、補足の②がついているのでそこがなぜかよくわからないという、そういう趣旨ですので、そこはどうされるかっていうのは、少し考えていただきたいと思います。
01:05:48	1種類野村明石でございます先ほど私申し上げた通りですので、ちょっとここはすっきりとちょっと話の流れを整え直します。
01:06:00	すいません先ほど社内で議論すると言いながらこういう論理構成指示したのが私、ですので、うちのメンバーもどかだと思っておりますけどそこはちょっと後程、
01:06:10	議論をさせてください。以上です。
01:06:32	はい。ちょっとそうしたらばですね。はい。
01:06:35	一旦、一通り、
01:06:38	説明で言うと、
01:06:40	いわゆる37ページのまとめの
01:06:43	手前までは、
01:06:44	まとめのところは、正しく言ったようなところで、
01:06:47	何名、それぞれ何ていい。
01:06:50	言いたいのか。
01:06:51	冒頭言ったように評価モデルを持って行って許可も出るかと。
01:06:56	そこまで。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:58	これも、全体を、
01:07:00	最後の 38 は、何というか、これ許可の時にもついていて、玄海るときは全体が分扱ったので、
01:07:09	あまり
01:07:10	スルーしましたが、
01:07:13	当私の記憶が間違っていなければ、
01:07:17	評価のまとめ資料ですかね。
01:07:20	その時にも、大体何か同じようなことが書いてあって、
01:07:25	そのときには、
01:07:27	以下のような取り組みを今後とも継続的に実施し、
01:07:31	確かにそのあとは、さらなる安全性心ですねこれに努めていくことが肝要であると認識している。
01:07:37	実施すると、実施することが肝要だと認識してるだけで実施するとは言っていないってことかもしれない。
01:07:44	一応当時から、
01:07:45	何か鉛直アレイの充実、大深度地震観測等って、
01:07:49	特定してのための地下構造、駄目だと思う。
01:07:52	書いてあるんですよ。ただ今回見ると、大深度ボーリング及び地下深部の地震観測の実施についても検討なので、やるとは言っても、
01:08:01	検討なんです。
01:08:03	何かこう前に進んでんだか後ろに進んでんだからあんまりここって、
01:08:08	地下構造の妥当性の話ではなく、
01:08:10	単純に安全性向上の姿勢の話、開放できるようにする内容ではない。
01:08:15	これは何ていうか、何か前進してるんだか後退してるんだかがよくわからない。
01:08:21	そのあたりは何か、許可の時に言っていたことと、その当時に、当事者だと思ったことと今後必要だと思ったことって、
01:08:28	それ変われば別のことをやればいってのはあるんですけど、
01:08:32	何か当時から、うん。水平アレイ、鉛直アレイ、高感度広域の地震観測とか何か特定市の方では、いろいろ書いていて、特定せずではもう少しはぎとりの
01:08:43	解析だと。
01:08:44	特定制度とか、
01:08:47	別の話、いわゆる柔軟地震とかあったころ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:52	ウワー、何か。
01:08:55	文字からやろうとしていって結局やっていないんだけど、今後やるかやらないかも、
01:09:01	してるっっちゃうことなんすかね構台新保
01:09:09	はい。中心連絡の本村でございます。おっしゃる通りですね許可の時には、観測だとか調査の話っていうのは、今後の取り組みとして、
01:09:21	させていただいております。で、既許可以降、我々としては大深度というボーリングの話も、記載はす当時、しておりましたけども、水平方向、特にその特定してとかの話もありますので、震源伝播サイト、
01:09:38	をより良く把握するためには、まずは広域の観測だったりとかですね、そういう観測ベースでちょっと
01:09:48	進めてはありました。今回地震基盤相当面で定義足されている標準応答スペクトルというところが、出てきたところで
01:09:58	これまでの審査、踏まえますと深いところからの物性ですね、そこら辺だとかあとやはり、
01:10:05	地盤の物性を決めるための観測っていうところは、やはり重要だなというところもありまして、改めてになりますけども、ちょっとそういうところを、今回、
01:10:15	改めて記載してるっていうところですけど、何か、
01:10:18	補足ある。
01:10:20	九州電力明石でございます。今もう本村が申し上げた通りではあるんですけどもちょっとベタな正直別のお話をしますと、まず既許可のときに、今後そういう取り組みやっていきますと、肝要ですと書いてたかと思えますけどもそう。
01:10:35	入ってまして実際に我々何もやってなかったかというとやってなかったわけではなくって、いわゆる大深度ボーリングを掘って直接確認に行くかでした、
01:10:47	それやっぱりせいぜいやれても1本2本3本でそういうピンポイントで確認するよりも特に、九州の場合我々課題認識として管内の電波特性が、
01:10:59	複雑なところ複雑というか、かなり岩一般的な距離減衰から見ると及びもっと何か減衰するような特に火山フロントなんかを跨ぐと、
01:11:10	そういう特性があるという課題認識があったり、特に仙台の方なんですけども震源モデルについて、これもかなり保守的な設定にしてたんです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	けども、そこをもうちょっと力を突きとめていかなきゃいけないという課題認識があって、結果、
01:11:23	ピンポイントでいわゆる地下構造を確認しに行くよりも、広く観測記録を、観測記録じゃない観測点をばらまいて、広域的に観測をしながら、
01:11:35	震源伝播で、サイト特性を、
01:11:41	まとめてという言い方おかしいですけどもより広くカバーできるような、把握していくことができるような取り組みをやろうと、いうことを優先してやっていたというのが実態で、
01:11:53	ございます。その一つがもう今では表部隊から聞いてしまいましたけども友田他のブロックインバージョンでありましたり、あれがそういう取り組みの一つ成果の一つとしてやられてきた。
01:12:06	ところではございましたけども、今回、改めてやっぱり、直接的に確認するんで大深度ボーリングを掘ってさらにそこで、各
01:12:15	各観測をするということこれは、優先順位云々じゃなくてそれもないと、結局我々、
01:12:23	どうしても掴めてないところが出てくるやっぱりそれやらなきゃやらなきゃいかんじゃんかと言う排水反省も込めて、これ 38 ページの文章これ実は先般の CEO 会議の時に、
01:12:36	持つ書かせていただいたものでそれ、これはもう実際にこれをやるべく、社内で検討を進めておりましたまだ決定まで至ってないところではありますけどすでにもう準備を進めておりますので、
01:12:47	改めて、ここで宣言させていただきたいということで、もう審査に直接関わるものではないと思いますけどもこのページに書かせていただいたものでございます。
01:12:58	以上です。
01:13:03	はい。
01:13:06	お手上げば、
01:13:08	ちゃんとそのあたりはと。
01:13:12	実施するものは実施するというので、はい。やっていただければ別に
01:13:18	これが、
01:13:19	現状おかしいとかっていう、パートではない。
01:13:22	はい。当然ながらね、
01:13:25	震源伝播の方優先してやって、サイトの方は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:28	次ということで、ただ、残念ながら標準応答スペクトルはもうサイトの特性だけなので、
01:13:34	そこの部分への明確な大きなアドバンテージ。
01:13:38	なかったんで今回残念ながらということではあると。
01:13:41	はい。
01:13:42	終わりました。
01:13:44	あとは、今の過程で後のところも一通り、
01:13:48	引かかる部分ですかね参考とか補足も何らかの形では、
01:13:55	うん。
01:13:55	したつもりですか。
01:13:58	ええ。
01:13:59	ここは、全体通してでも結構ですけど。
01:14:02	すいません。
01:14:15	はい。名倉さん、どうぞ。
01:14:17	名倉調整官どうぞ。
01:14:23	名倉です。そうなんでしょうか。精神状況悪いですかね。
01:14:29	いえ、大丈夫です。
01:14:33	簡潔にちょっと御指摘をします。
01:14:38	ページ数でいくと、
01:14:44	すいません 13 ページ、同 17 ページのところに、
01:14:49	許可の近くのモデルはというパラグラフがある、同じものがあるんですけども、
01:14:55	末尾が判断したってなってるんですが、
01:14:58	これは許可のときに判断したんですか。
01:15:02	こんな話聞いたって聞いたことないんですけど、判断は誰もしてないですよ。
01:15:08	これは今考えて今、今、思い起こせばそうですねという考えを述べてるって理解でよろしいですか。
01:15:16	はい。九州電力の本村でございます。こちらの判断したというところは既許可の時ではございませんで今今回、判断したというところでございます。
01:15:31	判断するのが早いんじゃないですか。
01:15:34	書き方をすると、既許可で判断したみたいに見えるし、
01:15:38	今回の評価の中で判断するんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:42	地下構造モデルの設定のこの最初の段階で判断する話ではなくて、
01:15:48	確認をして判断するんですね。
01:15:51	それが17ページ逆になってませんか。
01:15:55	確認するっていうことが、
01:15:58	今回の確認行為の後に判断をするのであればそれでいいんですけど、
01:16:04	冒頭に判断したってこういうふうに17ページのように書いてしまうと許可で判断したみたいに、
01:16:10	とらえられるんですけどこれはちょっと修正が必要ではないですか。
01:16:22	九州電力の明石でございます。すいません。ここの書きぶり実は、我々、当社としてこうこうこういうふうにやっぱ考えるんでしょうということで、
01:16:34	すいません判断したという言葉を入れさせたのは私でございます申し訳ございません。確かに書きぶりとしてよくおっしゃる通り、既許可の時にそういうふうに判断した。
01:16:44	ように読めますのでここは、我々としては長周期丹長式だけの短周期まで用いるものできるものだよねというふうに、
01:16:54	ここは
01:16:56	考えた上でこれを確認してって言って、最終的な判断、今回の許可の中で判断をするということになりますので、ちょっとここは誤解がないようにちょっと修正をいたします。
01:17:08	以上です。
01:17:09	いや藤さんね私が言いたかったのは、
01:17:12	本当は正確に含まれて、否定はしませんけど、
01:17:17	私たちこれ、
01:17:20	短周期に適用できるものとしては作ってないって、マスコミにも言ってます。
01:17:26	私たちの見解として、もっばら短周期に適用するものとしては作ってませんと。
01:17:32	言ってます。
01:17:34	そこと見方によってはぶつかるので正確に説明した方がいいんじゃないかなと思っています。
01:17:41	これは九州電力の考えとして、
01:17:44	短周期から長周期のすべての周期の地震動評価に適用できるものと考えると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:50	というような考えを述べてもいいんですけど、その考えの中身がちゃんとできた。
01:18:05	中期とこの制度に関しては、それほど厳密にやっていないんだけど保守性の観点から短周期でも、
01:18:13	液量可能だというふうに考えていると。
01:18:17	ということであればその旨ちゃんと書いた方がいいんじゃないですか。
01:18:23	ということだけです。
01:18:25	以上です。
01:18:27	はい。間瀬調整官今、考えている。
01:18:32	ということになって、その上で、
01:18:36	全部です。以上です。
01:18:37	切れました。もしもですね私がしゃべったこと切れましたかね、例えばから何か短周期側の制度が、の間が切れたんですけど、
01:18:48	もしかしたら、通信が一旦途絶えただけで、
01:18:51	話としては切れてなくて数秒遅れで、
01:18:54	中居若狭波が重なって、
01:18:57	来ただけかもしれない。
01:18:59	もう1回ちょっと言っていた方がいいですかね。例えばから聞こえます。今は聞こえますねはい。
01:19:07	私が言ったのは、
01:19:09	あん周期側の制度については厳密に、
01:19:14	評価をしていないけれども、
01:19:17	保守性の観点で、
01:19:21	適用できる、短周期でも適用できるんだ。
01:19:25	ということが言いたいのであればそういうふうにした方がいい。
01:19:28	というふうに言いました。
01:19:31	聞こえましたでしょうか。
01:19:35	鈴木音声は聞こえます。はい。ちょっと趣旨は、
01:19:42	九州電力の本村です。名倉さんのおっしゃる、
01:19:47	ことがわかりましたので、我々としてもですね、制度としては、当時、確認はしてございませんけども今回、Q値の話もありますので、
01:19:57	そこら辺に保守性の観点というところがありますのでちょっと
01:20:03	ちゃんと記載したいと思います。以上です。
01:20:11	名倉です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:20:13	はい。
01:20:15	わかりました。以上です。
01:20:20	はい、ありがとうございます。
01:20:25	大宜
01:20:26	ですか。
01:20:32	あたりです。
01:20:33	参考文献見てたら、
01:20:35	何か
01:20:36	宮尾宮越他とか入ってないなと思って、
01:20:40	この辺ちょっと、
01:20:44	地震本部も、
01:20:46	はい。九州電力の本村です。ちょっと許可の時も、
01:20:51	参考文献ですね、宮越ほかと阿藤地震本部、地震調査委員会 2003 ですかね、ちょっと記載してませんので、ちょっと追記したいと思います。
01:21:21	規制庁佐口ですけど、1.1. とか、ちょっとこれはもう教えていただきたいんですけど、13 ページのこの清川モデルなんですけど、
01:21:31	えっと、
01:21:33	正確に言うとはですね、この理論的手法に用いる
01:21:39	モデルって、これって全部使ってるんですけど。
01:21:43	ていう。
01:21:44	ある、何か、
01:21:45	ここの中でも、
01:21:47	この層より上だけしか使っていないとかそういう話ってなかったでしたっけっていう。
01:21:54	九州電力の本村です。理論計算で使ってる範囲だと思うんですけど、これ全部、13 ページの表を使っています。表記載してありますがこれ全部用いています。
01:22:08	はい。規制庁私ですわかりました。それで、
01:22:12	当然ながら、少し
01:22:15	今いろいろな、
01:22:17	地震動評価でいろいろなモデルが結局出てくるので、これを見ると、おそらく、
01:22:24	今回の標準応答スペクトルっていうのを、
01:22:28	評価する上ではこのうちの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:31	地震基盤相当面から上を、
01:22:34	モデルとしては使うということで、
01:22:37	ここに書かれているのは、
01:22:40	あくまでも地震基盤相当面というのがこの位置ですっていう、書かれているんですけど。
01:22:45	この Vs でいくと 3010 メーター、この層を含んでこれより上から、
01:22:51	が、
01:22:52	今回のモデル玄海と同じような感じですよ。
01:22:56	ていうんのかどうかっていうので、
01:22:59	何かこう、地下構造モデル機器とかのものを用いますと言いつつも、
01:23:04	当然ながら、全部を使うわけじゃなくって、さらに言うと、
01:23:13	何でしたっけ、例えば、
01:23:15	経験的グリーン関数法の妥当性を確認する場合は、これも、多分これ、丸々全部使ってるわけじゃなくて、この一部を使ってるとかそういう話じゃなかったでしたっけ。
01:23:28	ていう、ちょっと確認なんですけど。
01:23:33	九州電力の本村です。おっしゃる通り理論計算ではこの 13 ページ丸々使ってますけども、標準応答スペクトルであれば地震基盤相当面の下です。ね 3010 往復、Vs3010 を含むところで統計的につきましても同じような考えで、
01:23:49	やってますので、
01:23:51	モデルとしては、評価モデルの中を、全体の中の範囲を絞って使ってるってところはございます。
01:24:03	はい規制庁、佐口です。ちょっとくどいようなんですけど、そうすると、例えばですよ。
01:24:08	例えば、統計的グリーン関数法に用いているモデルを、
01:24:13	当然理論的手法に、
01:24:15	適用すると、これは足りないという理解でよろしいでしょうか。理論的手法は、この
01:24:20	33 キロ、深さ 33 キロぐらいまでを、
01:24:25	用いないと、これ、当然ながら、適用できないと、そういう理解でよろしいですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:33	はい本村です。細かいところなりますけども、佐口さんがおっしゃられる通りですね、理論計算ではこのすべてを使ってるというところになりますので、はい。以上です。
01:24:47	規制庁佐口ですわかりました事実確認できますと、
01:24:52	あとちょっと細かいことなんですけどさっきちょっとこの補足2というのがどういう位置付けっていうのは、もうお聞きしたんですけど、結局ですね、
01:25:02	これ、一番最初に出てくるのが45ページかなこのいわゆる、
01:25:08	速度断面図と照らし合わせてもっと前にありましたっけ。
01:25:12	でなければ別にいいんですけど、
01:25:15	こういう照らし合わせるときに、多分、これまで示されているものは、
01:25:20	やっぱり速度に応じて、
01:25:23	何ていうんすかね、この
01:25:27	不当性、
01:25:28	互選の太さが変わっているというのが、なんですけど、これは今回あくまでも、
01:25:34	高速度層というのをもう一定として仮定にしたから、同じようにズバーンとおりにしているのか、それとも、特にそこまで、
01:25:43	考慮していなくともとのその、
01:25:46	PS 検層の結果がそのまま反映されて、
01:25:50	いるわけじゃないんですけどそのあたりって、まずちょっと事実がどうなのか教えてもらっていいですか。
01:25:57	はい。九州電力の本村です。今までお示ししてたグレーのハッチのところのバーについては、太さにおいて応じて速度を変えてますけど、すいません旧エスワンとか赤で引っ張ってると。ええ。
01:26:12	線については、別に太さによって、側道の値が変わってるかということということじゃなくて、ただ単にちょっと位置を示したかったというところでございます。
01:26:24	はい規制庁佐口です。わかりましたのであくまでもこの補足②の検討に合わせて、そうしたわけではなくて、単純にここの位置でやってますよということを示されているだけと。
01:26:35	いう理解しましたのではいありがとうございます。
01:27:00	はい。
01:27:02	よろしいですかね。そうすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:08	電力の、
01:27:10	スケジュールでいる登録。
01:27:13	ベースで、
01:27:15	今6月の末に、
01:27:20	地下構造というとかと。
01:27:24	あり得ると。
01:27:26	今月、後々さん。
01:27:29	今、兵頭。
01:27:31	どこまで説明に使うのか。
01:27:34	モデル。
01:27:37	ありましたけど、どうぞ会議。
01:27:40	資料の方は直す。
01:27:41	この、
01:27:43	これが、
01:27:45	12という
01:27:46	あれば、
01:27:48	あ、どうぞ。
01:27:50	岡井ボス。
01:27:54	よ。
01:27:56	ここです。はい。
01:28:00	よろしいですかね。だから、
01:28:03	何か確認ありなければ、
01:28:06	はい、よろしいですか。
01:28:08	はい。では以上でヒアリング終了します。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。